

広報 南丹

こうほう なんとん

Nantan City Public Relations Magazine

2021

2 - 3

Vol.105



特集

市長と語ろう私たちのまちづくり

表紙：1月10日の成人式の様子



市公式Facebook
市内での出来事や
市に関する情報を
紹介します



市公式LINE
イベント情報や防
災・気象情報をお
届けします



市公式Instagram
人や風景写真など
を通して魅力を発
信します



NANTANGRAM



12月25日、南丹市議会議場で「市長と語ろう私たちのまちづくり」を開催しました。

南丹市内の小、中学生が市長と意見を交わすことで、ふるさとを愛し、生涯にわたって主体的で心豊かに学ぶこと、地域社会の一員としてまちづくりの当事者意識を養うことを目的に開催しているもので、各小学校の代表7人と中学校から4人が参加しました。

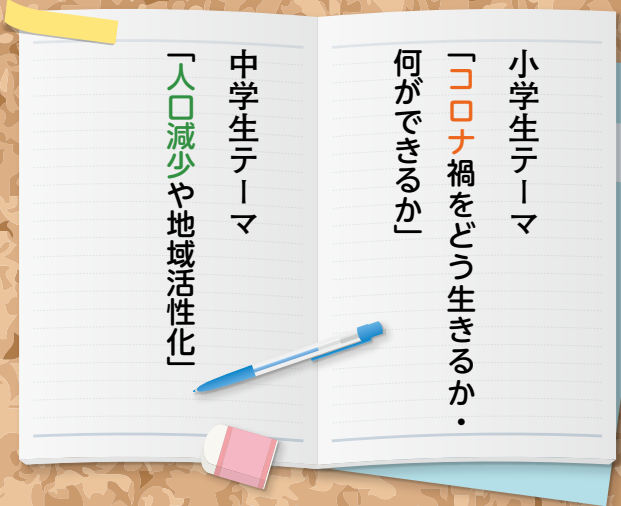
・コロナ禍では多くの行事やイベントが中止、人数制限となった。アフターコロナでも忙しくて行事を見に行けない人もいるかもしれない。

・いつでも、どこでも行事を見ることができるよう学校行事をストリームで配信したい。

・アフターコロナでも活用できる。



園部小学校 6年 山下 やました 承太郎 じょうたろう



中学生テーマ 「人口減少や地域活性化」

小学生テーマ 「コロナ禍をどう生きるか 何ができるか」

・これまで学校では、感染した人が周りにいた時に、自分たちができることを呼びかけるポスター作りや、地域の方々と一緒に医療関係者の方々へのメッセージなどの取り組みを行ってきた。

・「ありがとう」の言葉とともに「希望」という花言葉を持つガーベラを模した折り紙を画用紙に貼り、手紙を添えて渡したい。感謝の気持ちを伝えたい。



八木西小学校 6年 松尾 まつお 光優香 みゆか

・人には「自分を守りたい」という本能がある。コロナには「病気」「不安」「差別」という3つの顔があり、負のスパイラルでつながっているため、人の心を傷つけるような悲しい出来事が起きている。

・挨拶を意識し、やわらかい挨拶を大切にする。人の本能を揺さぶるようなことをして、心と心がつながる「幸せいっばいの社会」を作りたい。



園部第二小学校 6年 谷本 たにもと 智迦 ちか

・臨時休校中は生活が大きく変わり、生活が乱れる、学習が進まない、運動不足などの課題もあったが、一方で、友達の大切さや学校の楽しさに気づいたし、体を休めることもできた。



殿田小学校 6年

・リモートでつながる(話す、学ぶ、団らん)こと、リモートでできる遊びを紹介すること、楽しくできる運動を紹介すること、家でできる趣味、手紙を書くこと、我が家のルールを作ることができる。

松岡 まつおか 史歩 しほ

・コロナ予防の大切さを南丹市の皆さんに伝えるために、毎日決まった時間に明るい同じ言葉で、呼びかけ意識を高めていきたい。



八木東小学校 6年

・みんなの気持ちが明るくなるように、南丹市の各小中学校の通学路等に、応援メッセージや前向きな言葉、絵、ポスターなどを掲示したいし、その掲示板を作ってほしい。

畠山 ほたけやま 桃華 ももか

・南丹市の住民の皆さんに呼びかけをしてほしい。呼びかけの方法は、あいさつ運動のように、声で直接言った方が心に響くと思う。大人が見本になってほしい。



美山小学校 6年

・私たちは、家で「世界人権宣言から学ぼう」を音読して、人権について家の人と一緒に考えている。お互いに支えあい、差別のない南丹市を作るために、大人も子供も一緒に人権について、考えることが大切だ。

加地 かぢ 碧希 たまき

・感染症対策など最初は慣れなかったが、家族や友達を守るために予防していることをクラスでも考え、違和感はなくなった。これからも、リモートを使ったり工夫して、コロナ禍にあっても人とのつながりをさらに作っていきたい。



胡麻郷小学校 6年

・また、感染症対策を忘れず、感染した方々には差別でなく「大丈夫？」と声をかけられるようにしたい。

大石 おおいし 晴乃 はるの

質問と応答

市長

配信する動画編集の方法は誰に教えてもらうのですか。どうやって学びましたか。また、ストーリームでは、どのようなものを流して活用していきたいですか。

児童

南丹市から配布予定のタブレットに編集ソフトが入っているのですが、それを使おうと思っております。ストーリームは、忙しかったり、コロナなどの理由で直接行事を見られない人がいると思うので、見たい人が見てもらえるように活用していきたいです。

市長の講評

医療従事者やコロナに感染した人に差別が向けられているのではないかと心配しており、シトラスリボンを付けています。今のところ市役所に対して差別を受けたという報告は聞いていないが、噂などで流されている可能性もあります。

差別はいけないことで、事実に基づかない噂に振り回されないことが大切です。考えたことを行動に移せばコロナ差別はなくなると思っています。

参加した児童の感想

・うなずきながら聴いてもらったことがうれしかった。どんな意見でも、温かく受け入れてもらえるような雰囲気がありました。

・初めて大きな場所で、しかも一人で発表して、今まで練習してきた成果を発揮しようと頑張りました。言い終わった後は、達成感がすごかったです。そして、市長さんから質問が来たときは、思いが届いたと思って嬉しくなりました。

・学校代表として議場に入るのは初めてで、とても緊張しました。

・市長さんや教育長さん、他の学校の代表の人たちと話し合うのは、自分が思いつかなかったアイデアを知ることができ、新たな考えが生まれたり、共通点があったりして、とても貴重な体験になりました。



▲児童が作成した発表資料

・南丹市で生産されたものを買やすいように商店や温泉などの買い物でポイントを付ける。ポイントを、野菜など南丹市で生産されたものと交換することで、農家の人たちと地域の人とのつながりも生まれる。

・「人口減少対策」は、豊かな自然と地域の人々の温かさをアピール、動画サイトやSNSを活用して人口を増やす。



八木中学校
3年
谷 翔太

・南丹市といえば、思い浮かぶ「さくらちゃん」「かやぶきの里」などを利用して、さくら祭、さくらマラソン、あるいは観光地としてマリオタウンなどを誘致してはどうか。まずは知ってもらうこと。

・私たちにできることは、南丹市の活動を知り、そのことを発信し、共に活動することだ。そのことにより地域活性化につながると考える。



園部中学校
3年
田中 知里

・美山町は高齢化率46.6%で市全体の35.2%と比べ非常に高い割合。どうして若者が少ないのか。

・子育てする環境としては魅力的であるが、働く場所がないから移住しないのではないか。働く場所を増やすためにアスレチック施設を運営する企業を誘致。

・京都中部医療センターなどと連携し、若い医師を派遣してほしい。



美山中学校
2年
平山 玄

・人口減少を食い止めるために地域の活性化(空き家利用、文化体験・自然を生かしたイベント、町の名産品をつくる、観光地を増やす、宿泊施設を増やす、自然を生かしたアスレチックを作る)

・広報する(SNSで呼びかけ、特産品をアピール、一発逆転キャッチコピー、マスコットの変更、自然の中で住みたい人に移住を呼びかける)



殿田中学校
2年
松原 絆人

質問と応答

市長

イベントや市の魅力をPRしていく必要があるという話でしたが、どのような方法で発信しようと考えていますか？

生徒

You Tube、テレビ、インターネットを活用することにより、誰も見られて、いろいろな人に南丹市の魅力を発信できると思います。

生徒

南丹市営バスは、市民の意識調査では利用しない人の割合が高いことがわかりました。本当に必要な人とどいていますか。その予算を他にまわしても良いのではないのでしょうか。

市長

バスに人が乗っていないとの質問ですが、免許を返納するなどで移動手段がない方、高齢者の移動をどうしていくのかについて、バスを走らせることも必要ですが、例えば、地域の中でバス乗降の際に介助を行う「ちょい乗りサービス」を始めた地域もあります。他にも、介護の制度を利用したり、社会福祉協議会で送迎のサービスもあり、また事前に予約を

して利用するデマンドタクシーなどのサービスに徐々に切り替えることが良いと考えています。バスが空で走っているという指摘の件については、今後、さまざまな方法を考えていきます。

市長の講評

町づくりについて、今後あらためて考えていきたいと思っています。マイナンバーカードなど、デジタル化の時代が近づいています。地域のポイントカードの提案をいただいたが、社会のIT化にむけて大変参考になりました。人口減少について、的確な内容でした。特効薬はないが、一つ一つ、地域を元気にする取り組みを進めていきたいと思っています。限界集落で地元の良さをPRし、移住者を増やすためのプロジェクトを考える動きがあるので、いろいろな取り組みを積み上げながら人口減少を食い止める必要があります。働く場について、企業誘致や今ある事業を大きくしてもらおうことが必要です。市内に企業が立地できる場所を開設していくことが市でも一番大切な取り組みの一つです。

参加した生徒の感想

・市長さんの前ではつきり伝えることも学びとなりました。私たちが伝えることが少しでも南丹市に貢献できたら嬉しいです。

・緊張はあまりしませんでした。若い世代が語り合える機会を作っていたことが自分にとって良かったです。

・他校の児童・生徒の取り組みや考えを聞くことができて良かったし参考になりました。

・南丹市をこうしてほしいという子供の意見が市長さんに伝わってよかった。市長さんもその意見に対して考えてもらえる機会になったので良かったです。

・市長・副市長はじめ議員の方々が、私たちの提案に耳を傾けていただいたことに喜びを感じ、みんなが南丹市をよくしていこうという思いが感じられました。

・議場での発表ということもあり、緊張しましたが、市長や議員の皆さんと直接お話しすることができ、貴重な体験になりました。

“子どもたちの「ふるさと」を 思う心が伝わった”

将来を担う市内小中学校の児童生徒11名が議場において、南丹市のまちづくりについて自らの考えや学年全体でまとめたものを発表してくれました。

小学生は、新型コロナウイルス感染者への人権や医療従事者への感謝、友達の大切さなどコロナ禍において何が一番大事かを児童の立場から私たちに教えてくれました。

中学生は、地域の活性化は、地域の活動発信や地産地消の工夫、地域資源の活用など身近なことからできるのではないかとすることで、働く場所の創出や自然を生かした、医療の充実したまちづくりを行うことにより、人口減少を食い止めることができると、提案してくれました。

児童生徒の皆さんは、人として何が大切か、また、ふるさとを思う心をしっかりと持っていると感じました。今日の経験を生かしていただき、自らの目標に向け進んでくれることを心から願うとともに、私たちもいただいた意見を未来の南丹市のまちづくりに生かせるよう、より一層尽力してまいりたいと考えています。



南丹市議会議員 谷尻 宣雄

たくさんのご意見ありがとうございました。
いただいたアイデアは、今後の市政や教育
行政の参考とさせていただきます。





南丹市消防団出初式

1月10日、南丹市国際交流会館で、南丹市消防団88人が参加し、令和3年南丹市消防団出初式を行いました。

式では、西村市長が「近年、台風や豪雨による災害は大規模化の傾向が感じられ、どこで発生してもおかしくない状況にあります。南海トラフ巨大地震をはじめとする震災、原子力災害対策など、消防団に対する期待はますます高まっています。消防団を取り巻く環境は、団員の減少や高齢化など厳しい状況ではございますが、今後その職務の重要性を深く認識していただき、野中消防団長を先頭にご活躍いただきますようお願い申し上げます。」と消防団員に呼びかけました。

また、団員の多年にわたる勤続や功績をたたえ、京都府消防協会会長表彰、南丹市長表彰、南丹市消防団長表彰などを授与しました。

式典終了後には、消防車両28台による車両パレードを実施し、市長、団長らが閲団しました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

■京都府消防協会会長表彰

功績章

- 【八木】副団長▽面田 武志
- 【日吉】分団長▽湯浅 啓史

勤功章

- 【園部】副団長▽藤掛 久士
- 【八木】分団長▽平井 幹也
- 【美山】副団長▽福本 修三

精進章

- 【園部】分団長▽足立 伸二／副分団長▽上原 徹也
- 【八木】分団長▽白井 出・谷学
- 【日吉】副分団長▽増田 哲士・吉田 晃幸
- 【美山】分団長▽岩間 孝弘／副分団長▽長野 悦史

精勤章

- 【園部】分団長▽塩貝 孝之／副分団長▽高屋 正則・木戸 善治・下間 康広・大面 一生
- 【八木】副分団長▽若井 邦明・大内 聡／部長▽佐々木 達也・川勝 誠・入江 悟
- 【日吉】副分団長▽湯浅 弥／部長▽法谷 道哉・太田 修裕・川崎 登
- 【美山】副分団長▽細尾 勝／部長▽長野 久好・平井 幹人・山崎 大祐・山名 友紀

■南丹市長表彰

市長章

- 【女性分団】班長▽橋本 千代・村上 由記

- 【園部】部長▽泉 康孝・吉田 孝司・西村 吉史／班長▽山内 浩司・大町 晃・加舎 紘一／団員▽高橋 圭・森 正樹・谷口 誠治
- 【八木】部長▽羽野 文雄／班長▽川勝 敏孝・都総司・都築 密乗／団員▽人見 康司・浅田 浩史・吉田 悦志
- 【日吉】部長▽田伏 昌之／団員▽仲川 元・谷口 希・上原 秀太・船越 秀樹
- 【美山】部長▽黄楊 川 淳／班長▽岩佐 圭治・戸本 敬之／団員▽齋藤 友泰・村上 豊

■南丹市消防団長表彰

団長章

- 【園部】班長▽西岡 大介・折杉 隆彦・森 真祐・川西 陽平・野々村 充博・小寺 樹・阪口 雅典・児島 ひかる／団員▽山本 祐樹・竹内 俊哉・野中 友秀・片山 康弘・佐々木 俊希・森 和幸・中井 真司
- 【八木】部長▽村上 明・田中 友也・平尾 隆裕・相田 真之／班長▽川勝 範彦・竹井 環・森 雄基・野々村 直・平野 健太・浅

田伸弥・戸田貴也・田中昭巨
／団員▽粟津勇一・加藤龍也・
村上友一

【日吉】団員▽坂本大介・杉田
秀一・上段陽介・栃下裕義・
荒木雄大

【美山】班長▽渡邊憲昭・真木
健一・坂田佑弥／団員▽西野
伸哉・藤田大祐・小林慶士・
中上佳英

勤続章(20年)

【女性分団】団員▽岩間寿美恵

【園部】副分団長▽大面一生／
部長▽中野学・奥村敦夫／班
長▽木村哲・奥村弘樹／団員

▽北村誠也・清水俊有・川勝
隆弘・下尾恵太・森昭夫・木
村健・森純一・寺尾洋三・
中井善能・山内直樹・山下
剛・内藤克彦・松本圭市・松
下孝・北村良行・畑中美喜雄・
奥村幸裕・松本勝巳・奥村
昌広・野々口敦・安達裕行・
野々口勝美

【八木】班長▽竹井環・松本誓
司／団員▽國府紀行・川勝將
史・中川哲也・平井大輔・國
府佳朗・川見健太・人見太一・
八木一憲・福嶋哲也・林靖浩・
小林和幸・岩谷哲也

【日吉】分団長▽湯浅啓史・近
藤慎一郎／副分団長▽吉田
晃幸／班長▽小林崇泰・井尻

昌宏／団員▽木村一夫・栃下
康弘・山口健太郎・草川智・
谷内和也・宇野裕行・谷口勝
宏・芦田昌夫・猪奥慶・山本
裕稔

【美山】分団長▽登立修史・筒
井一博／副分団長▽細川猛

司・木村匡良／部長▽西直人
／班長▽長田充真・松村和成
／団員▽早崎勲・長野正幸・
松村征則・齋藤友泰・太田敬・
中島誠・岡本高明

勤続章(10年)

【女性分団】団員▽森本知恵子

【園部】部長▽泉康孝・長岡克
樹／班長▽廣野一道・折杉隆
彦・坂口雅典・小島直人・西
村悠佑／団員▽松井一弘・藤
田敦史・本村修・片山浩史・
高屋友彦・梅井雅樹・人羅恭
平・小林宏行・松田升善・片
山敏郎・佐井達哉・塩田隆宏

【八木】団員▽齊藤裕典・小面
洋平・川勝銳次・今西亮典・
廣瀬晃三・吉岡隆志・八木良
幸・廣瀬達也・松本健斗・入
江健次・池田好完

【日吉】団員▽栃下翼・井尻浩
嗣

【美山】団員▽野瀬信一・大野
琢馬・加藤大貴・藤田大祐・
小林慶士・水口博文・林英樹

■京都府知事表彰(令和3年2月) 永年勤続功労章

【本部】団長▽野中大樹

【八木】分団長▽川勝 広行

【日吉】副団長▽坂本 暁人

【美山】副団長▽小畑 幸洋

精勵章

【園部】分団長▽高屋智之／副
分団長▽齊藤武志・山岸三洋・
高屋陽介

【八木】副分団長▽藤井雅章／
部長▽川勝経義・徳見勉・中
西 治郎

【日吉】副分団長▽橋本達矢・
和田貴士／部長▽坂本勇・清
水 篤

【美山】副分団長▽菅井克章・
視測敦司・木村匡良・梅津彰
男

■消防庁長官表彰(令和3年3月) 永年勤続功労章

【本部】副団長▽平川博昭

【日吉】副団長▽吉田忍

■日本消防協会長表彰 (令和3年3月)

功績章

【園部】副団長▽仲勝

精績章

【園部】分団長▽矢野善大

【八木】分団長▽波部吉宏

【日吉】分団長▽近藤慎一郎

【美山】分団長▽登立修史
勤続章(30年)

【八木】団員▽竹上昭

【日吉】団員▽吉川博康・栃下
勝広・小林善則・栃下光治・
藤井康典・栃下正人・寺阪浩
二

【美山】団員▽松永 茂吉

■丹波地方消防連絡協議会会長表彰 (令和3年1月)

功労表彰

【園部】部長▽杉本光・山本知
克・長岡克樹／団員▽小野田
裕之・下西哲也

【八木】部長▽宅間伸二・中川
恭輔／団員▽中川哲也・藤田
武久・芝原克幸

【日吉】部長▽吉田貴弘／班長
▽吉田正・吉田航・井尻昌宏
／団員▽土井雅司

【美山】部長▽長野久好・岡本
勝弘・東昌司／班長▽鈴木繁
人／団員▽溝上智也



令和2年度南丹市表彰式

功績者表彰（10人）

1月20日、南丹市国際交流会館で、それぞれの分野で多年にわたるご活躍され、市政の発展や広く社会に貢献された10人の方の功績をたたえ、令和2年度南丹市表彰式を開催しました。

表彰式では、出席された功績者8人に表彰盾を授与しました。



廣瀬 義夫さん

旧八木町身体障害者福祉会ならびに南丹市身体障害者福祉会八木支部の役員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

大坪 洋子さん

旧園部町民生委員・児童委員、南丹市民生委員・児童委員として、多年にわたり地域福祉の向上に貢献

村上 不二子さん

旧八木町民生委員・児童委員、南丹市民生委員・児童委員として、多年にわたり地域福祉の向上に貢献

稲原 正典さん

犯罪や非行の予防ならびに罪を犯した人たちの立ち直りの援助など、保護司として多年にわたり更生保護活動の推進に貢献

畑 輝雄さん

市民の人権擁護ならびに人権啓発活動の普及など、人権擁護委員として、多年にわたり人権擁護委員活動の充実に貢献

今西 伸也さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

高屋 逸子さん

社会福祉法人「京都太陽の園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

近本 美和さん

社会福祉法人「あけぼの学園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

宮田 尚樹さん

社会福祉法人「京都太陽の園」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

森 哲也さん

社会福祉法人「美山育成苑」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献



新型コロナウイルス感染症拡大により、家庭で食事をする機会が増加したことなどを受け、市内小中学生から食育レシピを募集する「南丹市健幸・食育レシピコンテスト」が開催され、市内からおよそ300点のレシピが寄せられました。

1月19日は表彰式が開催され、受賞した生徒らは表彰状を受け取り「料理の彩りが良くなるように工夫した」「家族が料理を喜んでくれてよかった」と振り返りました。

受賞したレシピの中には、地産地消の食材を使用し、栄養バランスがとれているなどの理由から、学校給食のメニューとして配膳されています。



▲受賞者と関係者らで記念撮影

1/19 南丹市健幸・食育レシピコンテスト表彰式

「アイデア料理で心と体が健幸になる」



▲会場の様子

1月10日、南丹市国際交流会館で、新成人の門出を祝う「令和3年南丹市成人式」が行われました。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2部構成での実施となりました。

市では370人が成人を迎え、成人らを代表して、第1部は眞壁 依緒菜さんと湯浅 きずなさんが、第2部では岸本 涼さんが「社会人の一員として一歩ずつ未来に向かって歩いていきたい」と誓いの言葉を述べました。

規模を縮小した開催となりましたが、おしゃれな着物やスーツで着飾り、華やかな式典となりました。



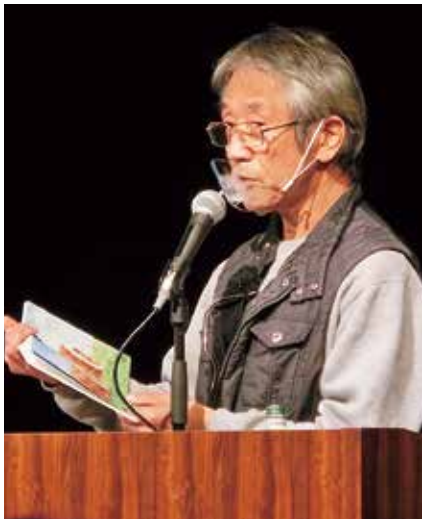
▲誓いの言葉を述べる岸本さん

「決意を新たに夢や希望に向かい進む」

1/10 令和3年南丹市成人式

「絵本の読み聞かせで笑顔があふれる」

(12/5 トーク&絵本読み聞かせライブ)



◀絵本の読み聞かせを行う岡田よしたか氏

12月5日に南丹市八木市民センターで、絵本作家岡田よしたかさんによる「トーク&絵本読み聞かせライブ」が開催されました。

絵本作家になるまでのお話をされた後、絵本の読み聞かせや、本とは一味違う紙芝居バージョンの「特急おべんとう号」の読み聞かせもされました。小さい子どもから大人までみんなが一緒に笑いながらお話や絵本の読み聞かせを楽しみました。



▲抗菌作業の様子

11月30日、(株)デルフィーノケアより、同社の社会貢献活動の一環として、美山民俗資料館の施設を丸ごと無償で抗菌していただきました。

社名にもなっている抗菌剤「デルフィーノ」は、救急車や病院、警察などでの導入実績が豊富で、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザウイルスやノロウイルスなどにも有効であるため、お客様により安心して来館いただけるようになりました。

「美山民俗資料館、施設の全面抗菌」

(11/30 美山民俗資料館の施設抗菌)

「健康なまちづくりプロジェクト」



▲タブレットを使った健康相談

12月8日、南丹市学生交流プロジェクトが開催されました。地域で活動されている方々が、公立南丹看護専門学校を訪れ、学生による学校案内や加齢症状に合わせた健康相談、ロコモ体操などを体験しました。体験後には、今後の地域と学校の連携について意見交換が行われました。参加者からは、「今回のプロジェクトを通じて健康なまちづくりを地域と学生と一緒に取り組んでいきたい」と声がありました。

(12/8 南丹市学生交流プロジェクト)

令和3年3月13日(土)より、園部駅以北の船岡駅、日吉駅、鍼灸大学前駅、胡麻駅で、ICOCAをはじめとしたICカードが利用可能となります。

今回のエリア拡大により、南丹市内のすべての駅でICOCAが利用可能となり、通勤、通学、お出かけが便利になります。

ICOCAの詳細なご利用方法については「ICOCA」で検索ください。



▲新たに設置されるICカード改札機

(ICOCAのサービス開始)

「ICカード利用駅が拡大される」

「パラリンピックス伊藤真波さん講演」

12月13日、南丹市国際交流会館で北京・ロンドン・パラリンピック競泳日本代表の伊藤真波さんに講演いただきました。

講演では、看護専門学校の実習先の病院へ向かう途中、交通事故で右腕を切断することになりましたが、医療用の義手をつけて看護師として働き始め、リハビリとして始めた水泳でもパラリンピックの日本代表として入賞を果たし、支えてくれた両親にお礼を言えたことをお話いただきました。



▲専用の義手で演奏する伊藤さん

(12/13 人権フォーラム)

1月25日、南丹市役所で、南丹市ケーブルテレビ事業の今後の在り方について、審議会会長の井上あい子さんから西村市長に答申書が手渡されました。

今回の答申では、安定的に将来にわたってサービスを提供するには、民間譲渡が現実的であるとの考えを示されました。西村市長は「情報通信事業は行政と住民にとって大切なもの。情報基盤を使った行政サービスに今後も力を入れていきたい」と話されました。



▲答申書を受け取る西村市長



▲関係者らで記念撮影

1月27日、南市役所で、人権擁護委員感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式が行われました。

人権擁護行政を取り巻く現状は、いじめ、不登校問題、同和問題、障害者に関する問題など、複雑困難な人権問題が発生する傾向にあり、人権擁護委員に対する期待は増大しています。

この度、1名の委員が退任され、感謝状が贈呈されました。また、再任・新任あわせて3名の方に委嘱状が伝達されました。

西村市長は、退任される方への感謝を述べ、これから人権擁護委員としてお世話になる3名に対し「南丹市域における人権思想の普及に努めていただくことを期待しております」と話されました。

「情報提供の品質向上を目指す」

(1/25 南丹市ケーブルテレビ事業答申)

「一人一人が心の豊かさを求める地域へ」

(1/27 人権擁護委員感謝状贈呈式及び委嘱状伝達式)



▲(左)岩崎関西支社長 (右)西村市長

1月19日、南丹市役所で、災害時における地図製品等の供給等に関する協定書調印式が行われました。住宅地図帳などを提供する株式会社ゼンリンでは、直ちに自社住宅地図商品を生かしてほしいと、2013年から各自治体に事前貸与する支援を行われています。この日、西村南丹市長と株式会社ゼンリン岩崎登関西支社長が協定書に調印し、京都市下で12番目の締結となりました。

協定書には、住宅用地図、広域地図の無償貸与に加え、災害対応時の複製利用の許諾やWEBサービスなどが盛り込まれており、災害時に迅速に地図を活用することができます。

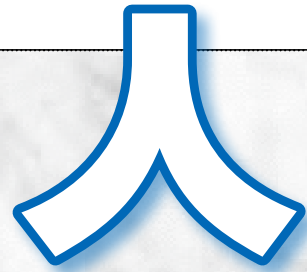
岩崎関西支社長は「防災のため、今後とも協力していきたい」と話され、西村市長は「救助や住民の所在を把握する際に地図は重要で、大変ありがたい」と感謝を述べました。



▲調印時の様子

「災害時の救助や安否確認などに活用する」

(1/19 災害時における地図製品等の供給等に関する協定書調印式)



この道☆ひと筋

高齢者叙勲



「住民の安全確保に寄与」

瑞宝単光章

なかの こうぞう
中野 好三さん
(園部町・66)

長きにわたり、優れた職務能力をもって勤務に精励し、消防の使命達成に努められました。その間、消防隊小隊長として出動した建物火災の際には、冷静沈着な判断指揮により早期に火災鎮圧を行い、延焼拡大を阻止したほか、幹

部職員としては複雑多様化する災害に対して、管内の実情に即した消防活動を展開し、圏域住民の安全確保に努めるなど、京都市中部広域消防組合の組織力向上に尽力されました。中野さんは消防署員としての40年間を振り返り「日ごろの訓練から肉体的にも精神的にも鍛えられ、厳しい現場も乗り越えられました。また、助けた人からの感謝が、続けていく上でのモチベーションとなりました」と話されました。今回の叙勲に対して中野さんは「とても嬉しく思います。叙勲をいただけたのも、家族や、職場の先輩や後輩に支えていただけたおかげだと思っています」と受章の喜びを語られました。



「地域農業の発展に寄与」

黄綬褒章

ひとみ やすお
人見 保夫さん
(八木町・82)

長きにわたり農業に従事し、水稲では複数品種導入による経営規模拡大で、地域の模範的な経営モデルとして、地域農業をけん引されました。また、家畜排せつ物の処理過程で発生するメタン発酵消化液の活用について、実証実験段階から協力し、本格的な水田への施用を実現し、使用量の増大を図るなど地域の循環型農業の実現に貢献されました。

また、圃場整備協議会では委員長を務められ、農地の区画整備や利用集積、集約化の取り組みなど、地域農業の発展に寄与されました。

さらには、水所生産組合の設立に尽力され、組合長として水稲を中心とした地域営農の発展の礎を築き、京都市内における持続的な地域水田農業の優良モ

デル事例といえる活動を行われています。

現在についても京都農協八木支店水稲部会の部長や、南丹市液肥利用協議会会長、そして南丹市農業委員会委員など、岐にわたり活躍されています。

受章に対し人見さんは「とても重みのある章をいただき、受章から少し時間の経過した今となればとても嬉しく思います。また、私一人がいただいた章ではなく、周りの人たちと一緒にいただいたものだと思っています。この章が周囲の人たちの励みになれば幸いです」と語られ「現在は農業者の後継問題など、課題は多くあるので、今後も地域農業の課題解決や、発展に貢献したいと思っています」と目標を話されました。



「視覚障害者の情報保障に寄与」

緑綬褒状

音訳ボランティア
やまびこの会
(設立:昭和 58 年 3 月 1 日)

視覚障害のある方に文字情報を声に変え提供することを目的に発足し、テープ録音から現在のパソコンでのCD録音まで、時代に合わせた録音方法を学びながら、音訳を続けておられます。

南丹市内の視覚障害者に市広報「お知らせなんたん」(月2回)および八木町民児協広報誌「しあわせ」(年3回)を音訳してCD録音し、郵送でお届けするとともに、視覚障害者との交流会を開催して関係を育み、音訳の要望に応えられるよう努めており、視覚障害者への情報保障に大きく寄与しております。

受章を受け「昭和58年から継続してきた活動を認められて嬉しいです。これもメンバー一人一人がグループの目的のために一生懸命に取り組むことができたからだと思っています。会の設立から繋いでいるパトロンに価値を感じながら、これからも活動を続けていきたいです」と語られました。

市内の行政情報をお届けする広報誌を声でお届けします。リスナーさんを募集していますのでお気軽にご連絡ください。問い合わせ先・南丹市社会福祉協議会

TEL:(0771)72-3220

地域おこし協力隊レポート



こんにちは。令和2年9月に地域おこし協力隊に着任した田村と申します。

私は京都府向日市の出身で、協力隊として着任する以前は10年ほど会社員をしていました。そのかたわら、趣味でマルシェと音楽に関するイベントを主催していました。

音楽活動や登山などのアウトドア活動、サッカースタジアムも趣味として長く続けています。また、海外約30カ国を単独で渡航し、見聞を広めました。

協力隊としてやりたいことが多いのが悩みですが、まずは南丹市の良いところを知る活動から始めています。令和2年9月に発足した園部文化観光協会主催のサイクリンググッツアーや、令和2年に窯を作られた園部町大河内地区の炭焼きへの参加を通して、ここには素晴らしい自然

然風景や文化があることに感銘を受けました。

多くの移住者や事業主の方々ともお会いし、人と自然は大きな財産であると感じています。その良さを発信し魅力を広めるために、市内にある施設を有効に利用しマルシェやフリーマーケットのようなイベントを企画したいと考えています。

また、芸術、スポーツ、登山を含むアウトドア活動などを通して、みなさんが笑顔になるような活動をしていきたいです。

これからより多くの方にお会いして地域の魅力や課題を掘り起こし、協力隊として、課題解決に向けたアクションを取れるように頑張りたいと思っています。とはいえ活動を開始したばかりで、まだ南丹市のことを十分に知らないのですが、みなさんには地域の資源などいろいろとお教えいただければ幸いです。

これからよろしくお願いたします。

問い合わせ先・田村隊員

TEL(080)3138-6396



南丹の景観ちょっと情報

景観計画区域
南丹市美山町地域



南丹市では平成26年4月1日から、景観条例を施行しています。

この条例は、市内の地域に景観計画区域を定め、建築物や工作物の新築や移転、屋根や外壁の塗り替えなどの行為に対して、形状や色彩に一定の基準を設け、南丹市のもつ素晴らしい景観を守っていくための条例です。

南丹市では現在、美山町地域を景観計画区域に定めています。下記の概要もご覧いただき、景観に対してご理解とご協力をお願いします。

また、地域の景観を守るための市民活動の情報がありましたら、地域振興課までお知らせください。

景観の小窓



～紹介編～

南丹市景観条例～基本理念～

「市民も来訪者も みんな“ほっ”とできる癒しのまち 南丹市」

住む人が「ここに住んで良かった」「いつまでも住み続けたい」と愛着と誇りを持ち、訪れた人々が「また訪れたい」「ここに住んでみたい」と感じる魅力ある景観の形成を目指します。

※景観計画の対象区域：美山町全域

届出の対象となる行為

屋根や壁の塗替え等 外観を変更することとなる修繕 若しくは模様替えまたは色彩の変更 変更する部分の面積が 正面から見て10㎡を超えるもの	建築物 新築・増築・改築・移転 全て届出が必要	工作物 新築・増築・改築・移転・ 色の塗替えなど 高さが8mを超えるもの又は 築造面積が8㎡を超えるもの
--	-------------------------------	--

※土地の形質変更や屋外での物件堆積も、一定の基準を超えると届出が必要です。

南丹市景観形成基準(守ってもらう基準:建築物について)

建築物の屋根、外壁の色彩は、下記に示したマンセル表式系で示した色相、彩度、明度の範囲とします。ただし、外壁を正面から見て10%未満のアクセントカラーの部分はこの限りではありません。

	使用する色相	彩度	明度
屋根	赤(R)・黄赤(YR)・黄(Y)	2以下	1～6
	黄緑(GY)・緑(G)・青緑(BG)・青(B)・ 青紫(PB)・紫(P)・赤紫(RP)		
	無彩色(N)		
外壁	赤(R)・黄赤(YR)・黄(Y)	6以下	1～9
	黄緑(GY)・緑(G)・青緑(BG)・青(B)・ 青紫(PB)・紫(P)・赤紫(RP)	2以下	
	無彩色(N)	—	

高さ
15m以下

形態・意匠等
周辺の景観と調和したものとする

緑化・植栽
敷地内の緑化に努める

門・塀・柵
自然景観や町並み景観に配慮する

※マンセル表式系とは…色彩を、色の三属性(色相・明度・彩度)によって表す数値。

【南丹市景観計画についてのお問い合わせ先】

南丹市役所 地域振興部 地域振興課

TEL:0771-68-0019

南丹市 HPに南丹市景観計画の策定について掲載しています。



みんなで描こう

協働のキャンバス 56

地域のさらなる活性化を目指して！

「地域活性化活動の紹介」日吉地域編

歴史探訪と移住者との共生で活性化 生畑区

生畑区は日吉ダムから桂川の支流となる木住川に沿って、車で約10分の場所に位置し、54世帯のうち移住世帯が16世帯です。

集落の高齢化率は43%で、8月には盆踊り、10月には地域対抗の運動会を開催するなど、これまでから受け継がれてきた伝統を守るとともに、新たに「散策ツアー」を実施するなど区民の交流を大切にしています。

過去には集落支援事業を活用し、生畑の歴史を後世に伝えることを目的とした「郷土史」の作成や「今昔マップ」の編さんに取り組み、ふるさとへの愛着を育んでいます。



▲生畑 散策ツアー

山城発掘で地域に誇りを 東胡麻区

東胡麻区はJR胡麻駅の東に位置する集落です。

集落には毎年10月に「馬馳け神事」を行う日吉神社があります。

また、1950年代に築城された史跡・東胡麻城はその歴史的背景が区民の間で語り継がれています。

これまでに集落支援事業やまちづくり活動交付金を活用し「山城発掘で地域に誇りを」をテーマに区で設置している東胡麻文化振興会を中心とした勉強会や現地見学会を開催しています。

事業の一環として今年度開催した城跡散策ツアーには、区内外から多くの参加者が集まりました。



▲東胡麻城跡散策ツアー

先人の偉業を後世に伝えよう 上胡麻区

上胡麻区はJR胡麻駅の南側に位置する、園部につながる広域農道の始発点です。

上胡麻区は太古、水底(胡麻湖)であったため、湿田(しる田)で収量も低く、農家の苦労は並大抵ではなかったと伝えられています。

大正13年の大干ばつを契機に、湿田から乾田への転換作業をすべて区民の手で行っており、その先人の偉業を後世に伝えるための冊子作成と説明看板の設置に取り組んできました。

広域農道沿いには「シバザクラ」を植栽しており、ゴールデンウィークには地域を彩ります。



▲咲き誇ったシバザクラ

日吉地域では新たに3区が集落事業に取り組まれています。

日吉地域では令和2年度、木住区、殿田区、中村区が新たに集落支援事業に取り組まれています。木住区では住民アンケートを行い、幕末維新で活躍した先人を顕彰し、地域の誇りにするべく取り組みを始めました。

殿田区では実行委員会を結成し、来年度からの事業計画を策定中です。

中村区では住民63名23世帯の小さな集落ですが、集落の歴史をまとめようと月一回のペースで集まっています。



▲木住区 視察地・小浜公園(梅田雲浜碑の前)

食は、

はつひつら、らひつら、らひつら



—46—

健康で幸せな
まちづくりを目指して

南丹市が「健幸都市」を目指し、健康まちづくりを進めていることを以前から広報してきました。この造語は、住環境が人の健康に影響する事実から「住んでいるだけで健康で幸せになれるまち」を意味しています。

健康づくりと栄養・食生活

人生100年時代と言われるのが、重要なことはできる限り長く、健康で幸せな人生を過ごせるかどうかです。市民の皆さんの健康寿命を延ばし、持続可能なまちづくりの基盤となるのが、健康づくりと栄養・食生活です。

特に食生活は、健康や生活習慣病など身体状況との関わりが大きく、地域や環境との関わりも深いものです。これらの構造を整理した上で、地域の栄養・食生活改善に取り組んでいるのが、行政栄養士です。

行政栄養士の役割

食べることは、生きること。食事をおいしく、楽しく食べ、健康に過ごしてもらえよう、市民の皆さんに寄り添い、一緒に良い食習慣について考えることが栄養士の役割です。また、広報などを通じて健康情報を提供し、健康に過ごしてもらおうきっかけづくりをすることも役割の1つです。

南丹市の食の課題

南丹市には「野菜の摂取量が少ない」「塩分の摂取量が多い」「食の欧米化により、日本人の身体に適した日本の食文化の継承が十分でない」などの食の課題があります。栄養士は、これらの課題の解決を目指して、個別の栄養指導や教室などでの集団指導の他にも、さまざまなことに取り組んでいます。

■元氣レシピの発信

南丹市LINEやホームページにて、元氣レシピ「コロナに負けない体づくり」を発信しています。免疫力アップと併せて、野菜たっぷり、薄味でもおいしいなどがポイントのレシピです。



▲元氣レシピ

■生きる力を育む弁当の日

学校、健幸まちづくり推進協議会と連携し「生きる力を育む弁当の日」に取り組んでいます。子どもたちが食に関する知識や調理力を身につけられるよう、授業や調理実習を実施しています。



▲「生きる力を育む弁当の日」切干大根づくりの様子

■保育所での取り組み

南丹市立保育所・幼児学園では、栄養士が考えた給食を提供しています。また、各園で子どもたちへの食育にも取り組み、今年度は八木中央幼児学園で、食を通じて子どもたちの主体性を育てることを目的にしたランチルームが完成しました。



▲ランチルームで食事をする子どもら

健康で幸せに過ごすために

赤ちゃんから高齢の方まで、個人から地域、まち全体に「健幸」の輪が広がり、市民の皆さんが健康で幸せに暮らせるよう、これからも応援していきたいと思えます。

問い合わせ先
南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)
TEL (0771) 68-0016

いきいき南丹

-102-

お元気ですか?
栄養士です。



毎日を元気に過ごすためのヒント

免疫力を高める食事って??

体の外から侵入してきた細菌や異物に抵抗して体を守っているのが「免疫」です。病気にかかりにくい体にするためには、この「免疫」の力が欠かせません。毎日の食事を工夫することで、免疫力を高めることができます。

免疫力を高める食事の工夫

バランスの良い食事を取る

ある特定の食品を取るだけでは、免疫力を高めることはできません。主食・主菜・副菜のそろったバランスの良い食事を取ることが大切です。

しかし、毎食いろいろなおかずを用意することは大変ですよね。そんな時は、みそ汁にたっぷりの野菜と豆腐を入れて具だくさんにするなど、1品の中にさまざまな食品を取り入れるこ

とで、少ないおかずでもバランスが良くなります。

主菜
免疫細胞の材料となるたんぱく質を豊富に含んでいます。



副菜
植物性食品に広く含まれるビタミンには、免疫力を高める効果があります。

主食
体のエネルギー源となります。

体を温める食事を取る

体を温めることで免疫力が活性化します。温かい食事を食べ、体の中から温まりましょう。



また、温かいもの以外にも、シウガやトウガラシなどの辛味成分は、血行を良くし体を温めてくれる働きがあります。反対に、塩分を取り過ぎると、血行不良の原因となるため、薄味の食事を心がけましょう。



腸内環境を整える

腸内環境を整え、その働きを活発にすることで、免疫力を高めることができます。腸内環境を整えるためには、善玉菌を増やすことがポイントです。



腸内の善玉菌を増やす方法は、大きく分けて2つあります。

1つ目は、生きた善玉菌を直接摂取する方法です。ヨーグルトや納豆などの発酵食品を積極的にとることがおすすめです。

2つ目は、腸内にもともと存在する善玉菌のエサとなる食物繊維やオリゴ糖をとる方法です。これらの成分は、野菜類・果物類・豆類などに多く含まれています。

楽しんで食事を取る

ストレスをためないことも免疫力には大切だといわれます。楽しみながら食事をする、リラックス効果で免疫細胞が活性化します。

毎日を元気に過ごすために

コロナ禍で、お家で食事をとる機会が増えた方も多いと思います。再び、家族や友人と食を囲んでコミュニケーションがとれるよう、食習慣を見直して元気に過ごしましょう!

問い合わせ先
保健医療課

TEL(0771)68-0016

「笑顔あふれる八木西小学校」



本

校では、子ども達
が、人権について深
く考え学び合うことを大
切にしています。その機
会として、毎年5月には、
人権アピール集会を設定
し、今年度のスローガンや
テーマ曲、人権の日の取り
組みについて、児童に提示
をしています。しかし、

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権のスローガンに基づいて、各学年で目標を設定し、掲示板での交流を行いました。また、日々の教育活動に人権教育を位置付けていますが、特に、人権について深く考え学び合うために、毎月15日を「人権の日」と設定しています。今年度は「笑顔あふれる八木西小学校」をスローガンに、「ぼかぼか言葉」をスローガンに、友達にこんなぼかぼか言葉が言えたという言葉をハート型の紙に書き、各学年で1本の「ぼかぼかの木」となるように掲示をしています。

ま

今年度は、新型コロナウイルスに関わって、人権に視点をおいた取り組みを行いました。本校の養護教諭による「新型コロナと人権について」の保健指導です。1・2・3年生には「①「病気」そのものの感染症」「②「不安」という気

持ちの感染症』『③「差別・偏見」という意識の感染症』という内容で話をしました。その際、この3つの感染症が「負のスパイラル」としてつながること、更なる感染拡大や、社会問題の深刻化へとつながっていくことを指導しました。また、4・5・6年生は、日本赤十字社監修『新型コロナウイルスがもたらす3つの「感染症」』の考え方をもとに文部科学省が作成した動画の視聴を実施しました。感染症から差別や偏見が生まれる理由について深く考えることができる機会となりました。

日

々の積み重ねが大切である人権教育は、今後も、引き続き全教育活動を通して取り組み、笑顔あふれる八木西小学校を目指していきます。



▲児童が書いたぼかぼか言葉

南丹市立八木西小学校
人権教育担当 教諭 田中 琴野

ふ・れ・あ・い



—第47回—

ひきこもりと人権 (8050問題)

近年、80代の親が50代のひきこもり状態の子どもと暮す8050問題が世間を騒がせています。内閣府の調査では40歳以上のひきこもりは60万人以上にのぼり、そのうちの約3割はひきこもり期間が15年以上だと報告されています。

長期間ひきこもりを経験した人が社会参加をしていくためには支援が必要です。しかし社会の目は冷たく、家族の育て方に問題があったのではないかと、本人の我慢や努力が足りなかったのではないかとといった自己責任論は根強くあります。そしてひきこもっている本人は、世間の視線に怯え、自分を責め、地域社会から遠ざかってしまいま

す。ひきこもりは、多様で複合的な要因が複雑に絡み合っ起こります。ストレスに対する脆弱性や障がいなどの本人の要因、過度な親からの期待や貧しさなどの家庭の要因に加えて、学校や職場でのいじめや不安定な就労などの学校・職場の要因、さらには世間体や偏見といった地域社会の要因が重なり合った結果なのです。人は誰でも、強いストレスから自分を守るために一時的にひきこもることがあります。しかし、適切な支援があればひきこもりが長期間続くことはないのです。

ひきこもりは、ひきこもっている側のみ改善すべき問題があるかのような誤解が生じがちですが、困難に直面した時に十分な支援を受けることができなかった結果生じた社会的孤立であるといえます。社会的孤立は誰もが持っている「幸せに生きる権利」を奪うものです。また、社会的孤立は社会の問題であり、地域社会で暮らすすべての人の問題であるといえます。

(人権政策課)

南丹市立図書館

中央図書館 TEL (0771) 68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日:毎週月曜日・祝日)

https://www.lics-saas.nexs-service.jp/nantan/

図書館へようこそ!

No.87



イメージキャラクター“なびっと”

読書手帳をつくりませんか?

借りた本のシールを貼って、読書の記録を残しませんか?

南丹市立図書館では、令和三年一月から、ご希望の方に当日借りられた本の貸出日・本の題名・著者名などが印刷されているシールを発行して、お渡ししています。図書館で用意している台紙で作った読書手帳に貼ったり、お好きなノートに貼って残しておかれてはいかがでしょう。感想や、本の中の気に入った言葉を、願っています。

読書の記録が、いつかあなたの心の宝物になることを、願っています。



新刊紹介

『島へんろの記』

著者…内澤 旬子
発行…光文社



小豆島八十八ヶ所霊場巡礼を思い立った著者が、般若心経を唱え、迷って歩いてまた迷って、結願するまでの約二年間を綴った巡礼記です。

『京都スタアホテル』

作…柏井 壽
発行…小学館



明治三十年創業の老舗ホテルの自慢は、十二の多彩なレストラン。さて、今日はどんなお客様をお迎えするのでしょうか。

暮らしたホッと

—第72回—
消費生活情報

スマホに届く詐欺メールにご注意!

詐欺メールにご注意!



- 相談1** 大手通信販売会社を名乗って、商品発送や支払い状況を確認するよう求めるメール(SMS)が届いたが、メールにある確認先のURLをクリックした方が良いか?
- 相談2** 宅配便の不在配達を知らせるメール(SMS)が届き、URLをクリックしたら個人情報の入力を求められ、不審に思い閉じたが大丈夫か?

ひとこと助言

身に覚えのない怪しいメールは無視しましょう!

●通販、宅配や携帯電話など実在する有名会社になりすました詐欺メールの相談が急増しています。怪しいメールは無視して、決してURLはクリックしないようにしましょう。

●メールに指示されてURLをクリックすると、

・偽サイトに誘導されて個人情報やクレジットカード番号を盗まれ、クレジットカードやインターネット通販が不正に利用される

・不正なアプリをダウンロードさせられ、自分のスマホから大量のSMSが送信される、キャリアア決済が不正利用されるなどの被害に遭うおそれがあります。

●詐欺メールの受信を防ぐには、携帯電話会社などのフィルタリングサービス(無料が多い)を使う、セキュリティーソフトを利用するなどの方法があります。

不安なことはお気軽に相談を

●不安なことや被害にあったかとも思うことなどがあれば、左記窓口にお気軽にご相談下さい。

消費者ホットライン

Tel 188 (いややー)

南丹市消費生活相談窓口

Tel (0771) 68-0100

月曜・火曜・金曜(祝日は休み)

午前9時～午後4時

京丹波町消費生活相談窓口

Tel (0771) 82-3803

水曜・木曜(祝日は休み)

午前9時30分～午後4時

(商工課)

堰水好日 えんすいこうじつ

市長 コブシ

狩野派と聞けば室町幕府、織田信長、豊臣秀吉、徳川將軍などに仕えた日本絵画史上最大の職業画家集団。宮内庁の唐獅子図や重要文化財指定の二条城や大徳寺の障壁画など秀作が数多存在する。

その狩野派を代表する絵師の一人狩野探幽は、一門の筆による園部藩主等肖像画17幅が南丹市内にある。幕末に江戸の藩主小出氏の菩提寺廣徳寺から園部の菩提寺徳雲寺に移された。一昨年には南丹市文化財に指定の後、同年徳雲寺から南丹市立文化博物館に寄贈いただいた。

徳川幕府絵師となり家康の肖像を描いた狩野探幽が園部藩主小出吉親の肖像を手掛けたということは、幕府内でも小出氏が高い位置にいたことをうかがわせる。事実藩主3人が奏者番、寺社奉行、若年寄などの幕府要職を担っている。また、園部藩肖像画は歴代藩主像だけでなく夫人像とセットとしてほぼ揃っていることは、全国の藩主の中で極めて稀という。(8代藩主等を欠く)

今年1月21日にビッグニュースが飛び込んできた。京都府がこれら肖像画をすべて暫定登録文化財に指定と発表。この指定は国や府指定文化財候補として認定し、修理・保存を支援する制度。

園部藩関係では既に2年前佛敎大学園部校地

内の園部藩墓所が府指定(史跡)文化財に、また、園部高校にある城門や櫓等3棟も暫定登録文化財に指定された。

園部藩にまつわる文化財の評価が徐々に上がってきていることはうれしい限り。勿論文化財の指定は専ら学術的評価に基づいて行われる。しかし市民の関心や保存・継承・活用の願いが強ければ、研究や調査も進み自ずと評価も上がる。昨年度園部藩立藩400年を契機に盛り上がった祭りや講演会等の様々なイベントも後押しとなったに違いない。

文化財や歴史は地域の大切な資源であり、埋もれたままにせず、積極的にまちづくり・むらづくりにつなげて生かしていく取り組みが最近南丹市内で広がってきている。八木城(及びジョアン内藤)や園部穴人城(及び小畠屋敷跡)、日吉梅若屋敷跡(能楽梅若家)、美山門坊寺跡ほか多数ある。そして、それぞれ地域の活性化資源として調査や整備・活用が市民の手によって地道に行われている。こうした積み上げが、結果として新たな指定文化財を生み出す力になればと願うものである。



▲庭のキンカンをついばむメジロ

南丹市長 西村 良平

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、市内でさまざまなイベントが中止という決断を迫られました。

しかし、そのような中でも、令和3年南丹市成人式は無事に開催することができました。新成人たちの希望や自信に満ちた晴れやかな姿や、夢を語る誓いの言葉に「きつとこの先の未来は明るいぞ」そう感じさせてくれました。

(M)



- 総人口：31,034人(-40)
(男：15,085人・女：15,949人)
(-12) (-28)
- 世帯数：14,213世帯(-7)
(令和3年2月1日現在)
()内は前月比



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市** なんたんし

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは秘書広報課まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。